

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネバーランドnext		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 20日		～ 令和 7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 20日		～ 令和 7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日報以外にも1日の様子を写真に撮り、連絡帳へ写真を入れている。	子どもたちと季節の壁面を一緒に作成している。	マンネリ化しないよう、他事業所とも連携を図り、新しい取り組み、おでかけ、遊びを取り入れていきたいです。
2	保護者交流会を開いております。親御様だけの交流以外、就労先や社会に向けての福祉に携わる方との交流会も開いています。	夏のサマーキャンプ、お餅つき等、大きな行事を計画しています。	地域の繋がりを増やしていきたいです。
3	ひとり、ひとり、子どもに合わせた寄り添う支援を心掛けています。	集団での活動を通し、社会性の発達を促すことで、自立に繋げていきます。	社会生活に向け、仕事に活かせるような取り組みを就労事業所等からもっと取り入れていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童デイや福祉事業所との繋がりはあるが地域活動が乏しくなっている。	地域としてのイベント活動計画が難しかった。	事業所として開くのが難しい場合は地域で始めている活動に積極的に参加して、きっかけを作っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ネバーランドnext

公表日 令和7年2月25日

利用児童数 31

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13			2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3		4	8		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14			1	参加できたらしたいです。	機会を作って行ってみたいです。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1	いつもありがとうございます。	モニタリングの面談以外でも何時でも困った事等、相談できる場を作っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13			2		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		2	感染症対策は強化して頂きたい。 マニュアルを置いてある事の周知、徹底してきます。また感染症対策等の研修へ参加し、強化してきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				とても楽しみにしています。 継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				ありがとうございます。 皆さんと協力して継続していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネバーランドnext				公表日	令和7年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		主なスペースと同じく隣に部屋と静養室がある。	継続していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		適切である。	状況に合わせて職員の調整をしていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		開けたスペースで段差はありません。	車の乗降時に気を付ける。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		子どもたちが帰った後は掃除、消毒を行っています。メインの部屋とは別に運動する部屋があります。	感染症対策を強化していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		子どもたちへ部屋の使い方を教えています。	継続していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		朝とお昼にミーティングを行っています。	継続していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		面談等で意見を聞いていきます。	継続していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		朝とお昼にミーティング以外でも設けております。	継続していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		法人で検討中	第三者外部評価を取り入れ業務改善に繋げていきたいと思っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		研修の時間を作って参加している。	継続していきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		今年度から作成した物をホームページ等で公表します。	継続していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		行っている。	継続していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		その日、その日職員も含め、パートさんとも共通、考慮しながら話し合いをしている。	継続していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		毎日、引き継ぎ打ち合わせをし、共有している。	継続していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		使用している。	継続していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		個別に合わせて設定している。	継続していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		行っている。	子ども達の為に皆チームで考えていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		みんなで話し合いマンネリ化しないよう工夫している。	子どもに合った活動を常に考えています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		本人に合った支援内容を共有しながら作成している。	継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		午前と午後でスタッフのミーティングを行っている。	情報共有し、子どもだけではなく職員間の連携も深めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		送迎後に振り返り情報共有をしている。	振り返りを行い、次へ活かせるよう話し合いをしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		ミーティング記録や日報の記録をとっている。	継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的に保護者の方と面談を行い計画の見直しをしている。	継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10		ガイドラインに基づき組み合わせ支援を行っている。	継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		おやつ時には自分でどれがいいか選んで頂いています。	他の場面でも増やしていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		定期的に会議をしている。	継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		協力医療機関と連携している。	継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		引受時等に共有を行っている。	継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		事業所間で引き継ぎや情報共有を定期的に行っている。	継続していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		最新の状況、個別支援計画等を元に情報共有を行っている。	継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		毎月、開催されている場で連携を図っている。	スーパーバイズや助言、研修の機会を増やしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	他事業所での交流はあります。	地域の活動の機会を増やしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		名古屋市障がい通所支援事業所連絡会、区の児童部会に参加しております。	継続していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		面談以外でも、話せる機会があれば耳を傾け、共通理解を持っている。	継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		年間に6回のペアレント研修を行っている。保護者様にも参加の呼びかけを行っている。	ペアレント講習を令和3年、4年度実施（ペアレント研修修了者・講師資格者配置）
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		ご契約時に行っている。	分からない事、不安等、常時受け付けております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		定期的に行っている。	継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		定期的に確認をしながら行っている。	継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		何時でも相談、面談等行えます。	寄り添った関わりを心がけていきたいです。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		昨年から保護者交流会を開いている。	親御様の意見等踏まえ、より良い交流会ができるよう工夫していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情窓口の連絡先を伝え迅速に対応している。	繰り返しのないよう共有していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		会報等、お便り、その日の活動写真にて発信している。	その日の出来事を写真で発信、SNSも活用していきたいです。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		従業員へ守秘義務同意書を行うなか保護者様へ周知をしている。	継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		情報共有をしています。	1日の様子を写真に収め配布しております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		イベント開催時にはお声掛けさせて頂いております。	継続していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		契約時に行っている。	もう少し周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCP他水害避難書、定期的に訓練を行っている。	継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時、定期的な面談等で最新の情報を親御様からお聞き、職員間で情報共有をしている。	継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		契約時、定期的な面談等で最新の情報を親御様からお聞き、職員間で情報共有をしている。	継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		定期的に参加等行っている。	継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		契約時、定期的な面談等で確認を行っている。	継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		毎日の日報と毎日のミーティング等で話し合い情報共有を行っている。	継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		定期的に研修を受けています。	虐待防止に繋がる研修は積極的に参加していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		身体拘束同意書と説明を行っている。	説明と同意書にご理解を頂き、個別支援計画書にも記載していく。	